



ルーテル学院だより

NO.153
2023.3.1

http://www.luther.ac.jp/
発行 ルーテル学院大学・
日本ルーテル神学校
〒181-0015
東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL:0422-31-4611
FAX:0422-33-6405

発行人 石居 基夫

授業探訪 「権利擁護と成年後見制度」



金子 和夫 教授

〈専門分野〉
社会福祉法・社会福祉法
〈主要担当科目〉
社会保障論、権利擁護と成年後見制度、憲法
福祉行政と福祉計画、卒業演習、社会福祉
法政策論(院) 他

Q この授業はどのようなことを学ぶのですか？

A この授業は、一年次前期の配当科目である「憲法」を前提として、民法や行政法を中心に、権利擁護を支える仕組みや法的諸問題、それにかかわる機関・専門職の実際を学ぶ内容となっております。実際には、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験科目であることから、その出題基準に沿って授業を展開することになります。

具体的に授業内容の一部を指摘すると、福祉サービス開始の有無は行政が決定することが多く、その決定に不満がある場合には行政と「闘う」知識がソーシャルワーカー、当事者に求められます。そのために不服申立てや訴訟の仕組みを理解しなければなりません。また、家族関係において、暴力や虐待、扶養や相続など家族の崩壊につながりかねない社会問題が多発しています。判断能力を欠いた人も増大し、財産が侵食されるリスクも多く見られます。それに対応するためにも、民法や成年後見制度などを学ぶことが重要になります。

Q この授業を学ぶ人に期待することは何ですか？

A この授業を学ぶ人の多くはソーシャルワーカーを目指しています。公務員として行政の窓口で、あるいは行政計画などの策定において権利擁護が実現できる街づくりに関わりたい、社会福祉施設や病院などで本人および家族の権利擁護を目指した支援をしたい、広く地域で地域住民のための活動に関わりたいといった人たちに、その実現に向けてこの授業を受けてほしいと思っています。

ただし、こうした権利擁護に向けた活動に従事する場合、中途半端な知識や技術の集積による対応は、逆にその人の権利侵害に向かつてしまう場合も見受けられます。専門職であるうがそうでなからうが、こうした役割を果たそうとするには、正確な知識・技術と頻繁に改正される法制度についての知識を身につけることが大切です。それにより権利実現が図られることを意識していただきたいと思っています。

Q この授業にはどのような特徴がありますか？

A この授業の大きな特徴は、新聞により「生きた情報」を利用しながら、法制度の有効性や問題点、課題を明らかにするところにあります。

例えば、高齢者であろうが受講者の学生であろうが、契約において問題を抱えてしまった人も多くいると思えます。新聞でそうした問題の一端である「大量の送り付け商法」とか「デイト商法」の実態を確認した上で、消費者契約法や特定商取引法などの概要を確

認し、今後の課題や新しい法改正の動き、例えば「霊感商法」などについて学習します。

また、児童虐待が頻発する要因の一つとして民法の親権における「懲戒権」の存在が問題になっていました。そうした虐待の実態を新聞記事で理解した上で、昨年12月の国会で改正された二年以内に実施予定となった「懲戒権」の廃止など、新しい動きを含めてその有効性を受講者で考えます。

さらには相続なども家族にとって大きな問題です。夫が死亡した後夫の親を介護してその親が死亡した場合、夫との間に子どもがいなければ介護してきた人に相続権はありません。何もなかった亡き夫の兄弟がすべて相続します。これを解決するための改正も実施されました。こうした動きを新聞により平易に理解を深めています。

Q 法律や制度を学ぶ意味は何ですか？

A 本学はこれまでも社会福祉の教育に、「方法論」と「制度論」の両輪の重要性を取り入れてきました。急速に変化する社会に対応するには「生ける法」の学習が大切です。みなさん一緒に学びましょう。



事前予約制

春の高校生のための体験講座 ルーテル学院大学一日体験入学 ～ルーテルのキャンパスライフを体験してみよう！～

日時: 3月28日(火) 13:00～16:00
会場: ルーテル学院大学
対象: 高校生の方
人数: 20名 ※定員になり次第申込終了

- プログラム
- 13:00 入試体験 (イントロダクション)
 - 13:15 講義「はじめて学ぶ社会福祉」 廣瀬圭子 准教授
在学生による社会福祉実習体験談
 - 13:55 講義「はじめて学ぶ臨床心理」 高城絵里子 准教授
在学生による心理実習体験談
 - 14:40 サークル紹介・体験 (手話サークル、スポーツボランティア)
 - 15:15 フリータイム 在学生とフリートーク
 - 15:30 キャンパスツアー
 - 16:00 終了

詳細、お申し込みは Web サイトから。
お申し込み・お問合せ先 ルーテル学院大学企画広報センター
電話 0422-32-2949 メール koho@luther.ac.jp



オープンキャンパスご案内

〈予約不要〉

4月29日(土)
模擬講義
心の専門家が大事にしていること 植松 晃子 准教授
ソーシャルワーカーって何をするの? 浅野 貴博 准教授



予約不要
各回、大学紹介、入試説明、個別相談等が行われます。
詳細は Web サイトで。



2023 オープンキャンパス日程
4/29(土) 5/13(土) 6/10(土) 7/9(日) 8/5(土)
8/18(金) 8/27(日) 9/16(土) 12/9(土)

お問合せ先 ルーテル学院大学企画広報センター
電話 0422-32-2949 メール koho@luther.ac.jp

三鷹市総合防災訓練に参加しました

事務管理センター 秋山 顕汰

10月2日(日)、三鷹市立第七中学校で三鷹市総合防災訓練が開催され、本学からスポーツボランティアサークルの学生2名と、職員2名が参加しました。この訓練は、災害発生時に備え「自助」と「共助」のための防災知識や技術を習得し、地域の防災力を高めることを目指して毎年行われています。今年は大沢地区がメイン会場となり、初期消火訓練・AED操作体験など、より実践的な体験ができる機会となりました。

参加した学生2名には、災害時の救助活動等において有効なジャッキやボール等工具の使い方を地域の方々に向けて指導・披露してもらい、地域の防災力強化の一翼を担っていただきました。

大きな災害が発生したときは、自助や公助だけではどうにもならないことが多くあります。そのような時こそ皆で力を合わせて助け合わなければなりません。

より一層学校の防災力を高めるため、ソフト・ハードの整備を欠かさず、日頃から防災のための備え・情報収集に励んでいきたいと思えます。



2022 キャンパスクリスマス報告

2022年キャンパスクリスマス委員会 委員長 1年 小澤 藍子

今年度のキャンパスクリスマスは「最高の贈り物！」をテーマとして行いました。コロナウイルスの影響もあり、対面での開催は3年ぶりでした。マルチコートからスタートし、次にブラウンホール、最後にチャペルという順に学内を移動しながら3人の博士たちが星を見つけ、贈り物をキリストに捧げるまでの物語を参加者の方々にとどりました。

今回のテーマである「最高の贈り物！」では市川研究室との共同で三鷹市の子どもたちが利用している福祉施設へ文房具や絵本を贈るということを企画の中心として取り組みました。

集まった贈り物は礼拝の中で多くの子どもたちのところへ必要が満たされるように祈りました。礼拝後は、共に賛美したり、聖歌隊、手話、音楽サークルの演奏を聴いたり、ゲームをして共に盛り上がりました。約80名の方が参加してくださり共にクリスマスをお祝いすることができました。



退任のご挨拶

市川 一宏 教授



私は、1983年4月、専任講師として勤め始め、本年度で39年。

金子 和夫 教授



京都の花園大学在任中の1990年度から本学非常勤講師を引き受けました。

ジエームス・サック 教授



退任のご挨拶をさせていただくのは、とても嬉しいことです。私は、30年以上にわたってルーテル学院大学と日本ルーテル神学校の教授として働くことができ、大変光栄に思っています。

分島 芳子 専任講師



2005年秋よりルーテル学院大学に着任して、17年間お世話になりました。

ルーテル諸学校代表者会・キャンパスミッション協議会

報告

事務長 坂田 好和

今年度は九州ルーテル学院で11月28日〜29日にわたり、ルーテル諸学校代表者会とキャンパスミッション協議会が行われました。

このルーテル諸学校とは、熊本県にある九州ルーテル学院、九州学院、埼玉県にある聖望学園、浦和ルーテル学院、そして本学の5つのルーテル系の学校法人の集まりです。

この5つの法人は、それぞれ別の法人なのですが、どこもルーテル教会が設立した学校です。キャンパスミッション協議会は、ルーテルの教員として教育をするために始められ、互いに研修などを行ってきました。

キャンパスミッション協議会の研修では、前九州学院理事長の長岡立一郎先生に「福音が人生にもたらしたものの」をテーマに講演をしていただきました。

さらに、それぞれの学校でのキリス

ト教育の実践と課題をとりあげました。本学以外は、中学・高校を設置しており、本学が作成した教材を使い、中学・高校でのキリスト教育を行っています。この教材の使い方や神学とキリスト教育をいかに両立させていくかが話し合われました。ルーテル諸学校代表者会では、九州ルーテル学院でのスクールサポーターの取組みが紹介されました。これは生徒の悩みや課題の相談に、担任と養護教諭との連携による支援に加えて、大学の心理学系の教員がサポーターとして生徒の支援を行うものです。この取り組みを通して、養護教諭のサポートと人材育成ができ、とても有益な連携がなされていることが紹介されました。この様な研修を通して、ルーテルの教育者として、生徒・学生にどんな教育、支援ができるか、法人を超えて協議しています。

2年ぶりに愛祭（めぐみさい）で子ども縁日を開催しました。

私たちの代が先輩から引継ぎを受けて2年間の空白を経た緊張感満載の愛祭も、学内関係者の皆様・ご来場者の方々等多くの人の協力により、大盛況の内に何事もなく終えることができました。新型コロナウイルスの影響もあり、前例通りにできないことも多い中、愛

祭実行委員と私たち子ども縁日とのコラボレーションで「縁日企画」が実現できたことは、愛祭全体にとっても大きな意義があったと感じています。さまざまな懸念はありましたが、学年を超えて楽しめたこと、子どもたちにも「面白かった!」と言ってもらえたことが非常に嬉しく、素敵な思い出となりました。後輩たちが地域の中にある大学として学園祭を行う意味を伝え続けられるように引き継いでいきたいと思えます。

退任のご挨拶をさせていただくのは、とても嬉しいことです。私は、30年以上にわたってルーテル学院大学と日本ルーテル神学校の教授として働くことができ、大変光栄に思っています。教育者であることは冒険でした。私は牧師と宣教師として日本に派遣されました。そして、神が私を教育の場に召されました。教える行為を通して、私は学生や教職員から毎日何かを学ぶことができました。ルーテル学院は、学び、成長し、祝福される、とても刺激的な場所です。定年退職後も日本に残るつもりです。ここで生活し、働くことを許されたので心から神様に感謝します。皆さんも神様から豊かな祝福を受けられるよう祈っています。God Bless you!

かっただす!その姿を見て企画してよかったと思います。学生生活の思い出のひとつになりました!

3年 阿部 紗弓

子ども縁日ではたくさんの子どもの喜びが喜んでくれている姿を見ることができてとても幸せな時間でした!また、学園祭の企画に携わることができてとても良い経験になりました!

3年 田口加奈子



たくさんの方に遊びに来ていただき、ゲームを楽しんでもらえたことがとても嬉し

お弁当の販売ありがとうございました

准教授 上村 敏文

新型コロナウイルスの影響で食堂の営業ができていませんでしたが、後期からお弁当の販売が開始されました。400円という廉価で学生にはとてもありがたい値段設定で感謝しています。大学の補助もあるとのことですが、昨今のインフレ基調の中でお昼の「オアシス」になっていきます。近くにはレストランや喫茶店も少ないので、学内でお弁当が手軽に購入できることは、教職員にとってもありがたく、私個人もぜひ利用させていただきます。心より感謝いたします。



心より感謝いたします。

2023年度前期 ルーテル学院大学公開講座

—市民と学生が共に学ぶ大学講座—

講座名	担当氏名	
1 地域福祉の考え方と発展過程及び地域福祉の主体	市川 一宏	ルーテル学院大学教授
2 日本文化史	上村 敏文	ルーテル学院大学准教授
3 食といのちと環境	上村 敏文	ルーテル学院大学准教授
4 臨床心理学概論	植松 晃子	ルーテル学院大学准教授
5 交流分析	田副 真美	ルーテル学院大学教授
6 社会福祉と国際協力	原島 博	ルーテル学院大学教授
7 ソーシャルワークの基盤	福島喜代子	ルーテル学院大学教授

受講料 1科目 10,000円 (授業回数 12~14回 (科目によって異なる))

募集人員 各講座若干名

申込受付期間 3/15(水)~3/31(金)

詳細、申し込み書類は大学HPから。

公開講座お問合せ先 ルーテル学院大学学生支援センター 電話 0422-31-4682

